

平成 19 年度
松江市教育委員会
点検・評価報告書

平成 20 年 12 月

松江市教育委員会

目 次

	ページ
I 平成 19 年度松江市教育委員会の点検・評価に あたって	1
II 松江市教育委員会の自己点検・評価	
1. 平成 19 年度松江市教育委員会の自己点検・評 価〔個別評価〕	2
【1】 教育委員会の活動	2
【2】 教育委員会が管理・執行する事務	3
【3】 教育委員会が管理・執行を教育長に 委任する事務	4
① 管理・執行を教育長に委任する事務の 実績	5
② 管理・執行を教育長に委任する事務の 評価	16
2. 平成 19 年度松江市教育委員会の自己点検・評 価〔総合評価〕	23
III 点検・評価に関する有識者委員の意見	25

I 平成 19 年度松江市教育委員会の点検・評価にあたって

1. 趣旨

平成 19 年 6 月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成 20 年度から教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況の点検・評価を行い、報告書を議会に提出することとされました。

松江市教育委員会では、これまでも、本市の教育の発展のために実施した事務事業について、市全体で行っている行政評価の一環として、自ら点検・評価を行い、改善に取り組んできました。

このたびの法改正に基づく教育委員会の事務の点検・評価制度の実施に当たっては、これまでの取組みを生かし、「教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）」、「教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会会議に諮られる事項）」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）」に区分して行うこととしました。

そして、点検・評価の対象は次年度施策への反映を可能にするため、前年度の事務を対象とし、議会への報告時期は、今年度は 12 月となりましたが、来年度以降は決算認定時期である 9 月としたいと考えています。

全国的に教育に関する諸問題が山積し、教育委員会の在り方が問われる中、今回、有識者委員からも点検・評価をいただいた本報告を大切な教材として活用し、効率的な教育行政の推進に努めるとともに、点検・評価結果を公表し、市民への説明責任を一層果たして参ります。

2. 具体的な点検・評価の方法

次の 3 つの項目に分類しました。

- (1) 教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）
- (2) 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会会議に諮られる事項）
- (3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）

※ (1) と (2) については、実績により評価を行いました。

※ (3) については、既存の松江市の行政評価を活用しました。国の考えとしては、既に他の方法で点検・評価を行っている場合は、その手法を活用することも可能としています。

II 松江市教育委員会の自己点検・評価

1. 平成19年度松江市教育委員会の自己点検・評価[個別評価]

自己点検・評価(個別評価)の考え方

相対評価については、文部科学省初等中等教育企画課の平成17年度間教育委員会の現状に関する調査と比較した。
 「【2】教育委員会が管理・執行する事務」の区分については、「松江市教育委員会教育長に対する事務委任規則」に対応するものとした。

大項目	中項目	小項目	実績	評価(a、b、c、d)
【1】 教育委員会の活動	(1) 教育委員会会議の運営	① 教育委員会会議の開催回数	会議を16回(うち持ち帰り会議が2回)開催した。 なお、平成18年度は17回開催した。	a (優れている) 会議回数平均14.1回より多く開催した。
		② 教育委員会会議の運営上の工夫	教育委員会会議議案、前回は2日前には配布、委員は事前に検討した。 委員会の開催は2,3週間前にHP掲載した。 案件は数日前に告示して周知した。	b (やや優れている)
	(2) 教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	傍聴者は延べ15人、ほとんどがマスコミ関係者と議会議員だった。	b (やや優れている。) 市町村教育委員会の平均傍聴者は76.2%が0人と比較した。 傍聴者にも議案等を配布した。
		② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	議事録は公開請求があった場合に、非公開の議決のあった部分を除き、公開している。 今回の自己点検・評価で委員会会議の要旨を公表する。	b (やや優れている) 市町村の62.7%は公表していない。 概要は評価に併せて公表する。
	(3) 教育委員会と事務局との連携	○ 教育委員会と事務局との連携	議案集作成時に委員長と協議した。 委員と事務局との意見交換のための委員協議会を開催した。	c (やや劣っている) 協議タイミングがやや遅いことがある。 委員の政策立案の機会不十分だった。
	(4) 教育委員会と首長等の連携	○ 教育委員会と首長等との意見交換会の実施	市議会との意見交換会を開催した。 合同校長園長会で市長と交流した。	b (やや優れている) 市町村では76.3%が首長との意見交換なし。 議会会派との意見交換を行った。
	(5) 学校・地域の教育活動への支援・参加	① 学校訪問	計画的に教育委員の学校訪問を実施した。 9月27日、10月9日、11月1日、11月29日、2月7日、3月10日に実施。延33校(幼稚園含む)を訪問した。	a (優れている) 全77校(幼小中)のうち33校を訪問した。 訪問先で、教職員と交流した。

	② 所管施設の訪問	学校給食センター、公民館、青少年相談室などを訪問した。	c (やや劣っている) 社会教育施設、社会体育施設の視察は、教育関係事業のある際にしか行っていない。
	③ 教育関係事業への参加	校園長合同会議(5月8日)、パワーアップ松江っ子サマースクール(8月20日)、小学校長会(9月4日)、中学校長会(9月4日)、少年の主張県大会(9月5日)、指定人権同和教育発表会(10月25日・30日、11月13日・30日)、はたちの集い(1月13日)、ふるさと教育フェスティバル(1月26日)、女子高卒業式(3月1日)など	a (優れている) 多くの教育関係事業に、教育委員が積極的に参加している。
(6) 教育委員の自己研鑽	○ 研修会への参加状況	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会(呉市)に委員長、西村委員、中筋委員が参加した。 島根県市町村教育委員会連合会研修会に委員長が参加した。	b (やや優れている) 会議終了後、委員協議会がない際に、必要に応じて、委員の意見交換会を行った。
【2】 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。	平成19年度には市長部局と総合計画の実施計画を策定した。	c (やや劣っている) 委員の意見を反映できる機会が不十分だった。
	(2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。	平成19年度中に公布した委員会規則は22件、制定した訓令は3件。主なものは以下のとおり。 ・ 勤務評価制度に目標申告制度を導入し、幼稚園と女子高の管理職・教員の評価に関する4規則を制定(旧規則を廃止) ・ 全国的にも珍しい高校の少人数学級を導入のため、松江市立女子高等学校規程を改正 ・ 長期休園児の保育料の負担軽減を図るため、松江市立幼稚園学則を改正	a (優れている) 政策的な規則の制定改廃があった。 法律改正に伴う所要の改正も適宜実施した。
	(3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	・ 移転オープンした青少年相談室を、個別の教育機関と位置づけ、条例、同施行規則を制定した。 ・ 工事請負契約の議案については、議会の1月前の協議会で勉強会を開催した。 ・ 新設学校等は、文部科学省の補助基準に準じつつ、地域バランスを考慮するよう協議した。	b (やや優れている) 設置廃止の方針等については、該当なし。 個別施設の設置、廃止については、委員協議会で詳細に検討した。 個別施設の契約案件については、委員会で審査を行った。

(4) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。	平成20年4月の人事異動に際し、島根県教育委員会に職員の内申を行った。	評価に適さない。
(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。	平成19年度に見直すべき事項なし。	
(6) 前2号に定めるもののほか、教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事。	平成20年4月の人事異動に際し、市長事務部局(人事課)と協議を行った。	評価に適さない。
(7) 校長、教員その他の教育職員の研修の一般方針を定めること。	平成19年度に見直すべき事項なし。	
(8) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事。	教育三法の改正について、勉強会を実施した。	b (やや優れている) 早くから勉強会を実施した。
(9) 歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案に係る意見の申出に関する事。	・各議会前の教育委員会で、予算、補正予算の法律上の教育委員会の所管部分について議決した。 ・事務局に、来年度以降は予算要求前に協議を行うよう要望した。	b (やや優れている) 予算執行段階、次年度予算要求段階での委員と事務局の協議を行った。 議会と同程度の説明を教育委員会で行っている。
(10) 教育課程の内容及びその取扱いの一般方針を定めること。	平成19年度は該当なし。	
(11) 学校その他の教育機関の建築計画を決定すること。	平成19年度は該当なし。	
(12) 特別支援教育就学審議会委員、スポーツ振興審議会委員、図書館協議会委員、体育指導委員、文化財保護審議会委員、菟古館運営委員会委員、社会教育委員及び公民館運営審議会委員の任免又は委嘱に関する事。	各委員の任免、委嘱を議決した。	b (やや優れている)
(13) 通学区域を定めること。	平成19年度には該当なし。	
【3】教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	※「【3】① 管理・執行を教育長に委任する事務の実績」のとおり。	※「【3】② 管理・執行を教育長に委任する事務の評価」のとおり。

【3】① 管理・執行を教育長に委任する事務の実績

＜教育内容の充実＞

- (1) 第31回全国高等学校総合文化祭 [教育総務課]
第31回全国高等学校総合文化祭が平成19年7月29日～8月2日に松江市等で開催された。松江市は市内会場使用料等を負担した。
松江市内では、総合開会式、パレード、演劇、器楽・管弦楽、美術・工芸、書道、写真、放送、新聞の8部門と協賛として生活科学と特別支援学校が行われた。
- (2) 学校図書館司書配置事業 [教育総務課]
新・松江市図書館ネットワーク整備プランに基づき、平成27年度までに市立小・中学校全校に学校図書館司書を配置していく。平成19年度は、小学校5校に配置し、合計11校の配置となった。
- (3) 小中一貫教育推進事業 [指導課]
小中学校が児童・生徒の9年間の育ちを見すえて、一貫した教育体制を組んでいる。平成19年度は、八束中校区をモデル地域、四中・玉湯中校区を推進地域として事業を推進した。
- (4) 学力調査事業 [指導課]
小・中学校において学力調査（県と共同実施）を実施し、その結果を検討・分析し、指導方法の改善に役立て、児童生徒の学力の向上を図っている。
・調査対象：小学校3～6年、中学校1～3年
（小学校6年の国語・算数、中学校3年の国語・数学は文部科学省の全国調査で実施）
- (5) パワーアップ松江っ子サマースクール事業 [指導課]
8月を「パワーアップ松江っ子月間」と位置づけ、著名な講師を招聘し、児童生徒の学ぶ意欲の向上を図っている。
- (6) 松江サタデースクールモデル事業 [指導課]
児童生徒の学ぶ機会を増やし、自ら学ぶ意欲の向上を図るため、市内小

中学校から実施希望をとり、隔週土曜日に実践的な調査研究を行っている。

平成 19 年度は、平成 18 年度より 3 校増え、小学校 9 校、中学校 5 校、計 14 校で実施した。

各学校の総括者として、退職した教員等を塾長として委嘱・派遣した。

この事業は島根大学教育学部との連携事業とし、島根大学から派遣された学生が指導補助にあたっている。

(7) 心とからだの育成事業 [指導課]

いじめや不登校など学校教育の緊急的課題の解決や児童生徒の心とからだの育成を図るため、個別的・集団的領域において施策を展開し、状況の改善と指導力の向上を図っている。

(8) 小・中学校スクールアドバイザー派遣事業 [指導課]

中学校の生徒指導を支援し、円滑な教育活動の推進を図るため、市立中学校（14 校）にスクールアドバイザーを配置している。生徒の教育相談、生徒指導にあたるとともに、家庭と地域との連携に関する助言・援助を行っている。

また、個別支援が必要な児童の増加等、生徒指導上の課題に対応するため、小学校にも導入し、12 校に配置している。（3 校は中学校と兼務・スクールアドバイザー数 24 名）

(9) 小学校英語活動指導協力員派遣事業 [指導課]

すべての小学校に英語活動指導協力員を派遣し、全小学校で英語活動が実施された。

(10) 総合的な学習の時間充実事業 [指導課]

各学校へ総合的な学習の時間に必要な経費を助成し、推進を図った。

(11) 外国青年招致事業 [指導課]

英語を母国語とする国から外国青年を招致し、小学校での英語活動及び国際理解教育、中学校と市立女子高での英語教育の充実を図る。

平成 19 年度は事業の効率化を図ることを目的に、二学期より外部委託の ALT（外国語指導助手）を 1 名配置し、検証を行った。

(12) 教える力向上プロジェクト事業 [指導課]

サマースクールと兼ね、全国的に著名な講師（秋山仁氏）を迎えて教育

力向上講演会を実施するとともに、松江らしい学校教育を創造するために、「学校教育改革推進審議会」を設置した。

(13) 南北拠点校充実事業 [指導課特別支援教育室]
特別支援教育の橋南橋北の拠点として、母衣小学校と中央小学校に就学支援専門相談員を配置し、継続的な就学相談や教育相談を行っている。

(14) 教育相談実施事業 [指導課特別支援教育室]
市内各幼稚園・保育所・小学校・中学校から教育相談の希望のあったものに対し、教育相談員が個別に相談に応じている。就学相談の前期的役割も果たしている。

(15) 特別支援教育就学審議会事業 [指導課特別支援教育室]
依頼を受けて、個別に指導主事及び専門調査員を派遣したり、その他必要と思われる資料を収集し、対象児童等の実態を十分に調査した上で審議会で審議を行い、望ましい就学について判断を得ている。
平成19年度は9回の審議会を開催した。

(16) 特別支援教育指導員事業 [指導課特別支援教育室]
通常の学級に6%在籍するといわれている発達障害等の児童生徒への望ましい教育的対応や校内指導体制の充実について、研究協力校を指定して調査研究を実施している。
平成19年度は、指導体制等についての研究と個別的な支援の充実を図るため、小学校の研究協力校2校に特別支援教育指導員2名を派遣した。

(17) 学習障害等判定専門委員会事業 [指導課特別支援教育室]
各学校の校内委員会で協議された事例を基に、学習障害等の判断とより適切な指導の在り方等について検討している。

(18) 学習障害等支援プログラム作成委員会事業 [指導課特別支援教育室]
学習障害等専門委員会で判断を受けた児童生徒について、学校訪問や面接、検査等の資料をもとにプログラム委員会を開催し、より適切な指導方法や内容について検討している。

(19) 特別支援教育研修講座事業 [指導課特別支援教育室]
具体的実践的な内容を含め、特別支援教育の在り方等について研修を深

め、教職員の指導力向上と校内支援体制の充実を図ることを目的に、特別支援教育一般研修講座、特別支援教育専門研修会等を実施した。

(20) 学習障害等実態研究調査事業 [指導課特別支援教育室]

特別支援教育専門委員会やプログラム委員会との連携を図りながら調査研究協力校による実践研究をすすめ、校内体制や個別的支援の在り方について、調査研究を進めた。

(21) 特別支援教育育成事業 [指導課特別支援教育室]

小中学校における特別の教育課程を実施するにあたり、近隣の学校間や同種の特別支援学級において、交流や合同学習を行うなどして、より効果的な指導方法の研究を行う松江市特別支援教育研究会に対し、活動助成を行った。

(22) 松江市特別支援連携協議会事業 [指導課特別支援教育室]

障害等のある幼児児童生徒に対する教育的支援を適切に行うための関係機関連携による体制整備をすすめた。

(23) 特別支援学級介助員事業 [指導課特別支援教育室]

特別支援学級での安全確保のため、排泄や移動等に介助の必要な在籍者が多い学級のある学校に介助員 10 名を配置した。また、市内 2 校の通級指導教室に通級指導教室指導員を 2 名配置した。

(24) 特別支援教育支援員配置事業費 [指導課特別支援教育室]

通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒の学習上及び生活上の支援を行うため、特別支援教育支援員 5 人を配置した。

(25) 女子高・杭州市相互交流事業 [市立女子高等学校]

杭州第十四中学の生徒との交流をとおして、相互理解と友好を目的に実施する。平成 19 年度は杭州市からの訪問団を受け入れた。

<教育環境の整備・充実>

(26) 八束小学校・八束中学校校舎整備事業 [教育総務課]

八束小学校・八束中学校校舎の老朽化に伴い、小中一貫教育を前提とした小中一体型施設として平成 19 年度～平成 22 年度の 4 年間で設計、改築

工事を行っている。

- (27) 城北小学校校舎整備事業 [教育総務課]
城北小学校の校舎の老朽化に伴い、平成 19 年度～平成 21 年度の 3 年間で設計・改築工事を行っている。
- (28) 島根小学校屋内運動場整備事業 [教育総務課]
島根小学校の屋内運動場の老朽化に伴い、平成 19 年度に改築工事を行った。
- (29) 島根小学校屋外教育環境整備事業 [教育総務課]
島根小学校屋内運動場の改築に伴い、屋外教育環境の充実を図るための整備を行っている。平成 20 年度に行う土木工事のため、平成 19 年度には測量・設計を行った。
- (30) 生馬小学校校舎大規模改造事業 [教育総務課]
生馬小学校の校舎は、平成 19 年度～平成 21 年度の 3 年間で設計・大規模改造工事（耐震補強・老朽改造）を行っている。
- (31) 本庄小学校校舎整備事業 [教育総務課]
本庄小学校の校舎の老朽化に伴い、平成 18 年度～平成 19 年度の 2 年間で改築工事を行った。
- (32) 本庄小学校校舎整備事業 [教育総務課]
本庄小学校校舎の改築に伴う備品の整備を行った。
- (33) 本庄小学校屋内運動場整備事業 [教育総務課]
本庄小学校の屋内運動場を改築する。平成 20 年度の改築工事に向け、平成 19 年度に調査設計を行った。
- (34) 鹿島東小学校屋内運動場整備事業 [教育総務課]
鹿島東小学校の屋内運動場の老朽化に伴い、平成 19 年度に改築工事を行った。
- (35) 鹿島東小学校屋外教育環境整備事業 [教育総務課]
鹿島東小学校屋内運動場の改築に伴い、屋外教育環境の充実を図るため

の整備を行っている。平成 20 年度に行う土木工事のため、平成 19 年度には測量・設計を行った。

(36) 鹿島中学校整備事業

[教育総務課]

老朽化した鹿島中学校の整備のための土木工事等、建物工事以外の諸整備を行っている。平成 17 年度に用地買収をし、平成 18～21 年度に土木工事を行っている。平成 19 年度には南側進入路工事・排水路工事等、新校舎への引越し等を行った。

(37) 鹿島中学校校舎整備事業

[教育総務課]

鹿島中学校の校舎の老朽化に伴い、平成 18 年度～平成 20 年度の 3 年間で改築工事を行っている。

(38) 鹿島中学校屋内運動場整備事業

[教育総務課]

鹿島中学校の屋内運動場の老朽化に伴い、平成 19 年度～平成 21 年度の 3 年間で設計・改築工事を行っている。

(39) 第一中学校校舎大規模改造事業

[教育総務課]

第一中学校の校舎は、平成 19 年度～平成 20 年度の 2 年間で大規模改造工事を行っている。当初は、19 年度単年度の工事を予定していたが、入札時の談合情報が寄せられたため、この調査に不測の日数を要したことにより、事業計画を見直し、19 年度～20 年度の工事に切り替えて行っている。

(40) 第一中学校校舎耐震補強事業

[教育総務課]

平成 18 年度に設計し、平成 19～20 年度で耐震補強工事を行っている。

(41) 第一中学校校舎整備事業

[教育総務課]

第一中学校校舎大規模改造事業の遅れに伴い、整備事業のうちの備品購入については、19 年度と 20 年度の 2 ヶ年で予定していたが、20 年度に一括して行うこととした。

(42) 施設整備計画

[教育総務課]

平成 19 年度段階では、小中学校の耐震改修を H18～H27 年度 (10 ヶ年) の間に完了する計画である。

H18～H20 年度の計画期間では、H17 年度までに実施した耐震診断の結果、耐震性がないと判定された施設の内、小学校 2 棟、中学校 5 棟の耐震

補強と旧耐震基準前の施設の内、小学校 7 棟、中学校 5 棟の改築を実施し、小学校、中学校の耐震化率をそれぞれ概ね 8 ポイント、15 ポイント上昇させていく。

(43) 鹿島給食センター整備事業 [学校給食課]

施設の老朽化に伴う鹿島学校給食センターを新築移転した。

(44) 食育推進事業 [学校給食課]

食の重要性・正しい食生活に対する意識を高揚させるための啓発を行った。

(45) 学校家庭地域連携食育推進事業 [学校給食課]

文部科学省から食育推進地域の指定をうけ、学校・家庭・地域が連携、協力した食育の推進を図るため、国からの研究テーマを基に教科や総合的な学習の時間等の食に関する指導計画の作成及び実施した。

(46) 地域食育推進事業 [学校給食課]

生産者（農業者・漁業者・加工業者等）と学校、行政が連携を図れる地域食育推進組織を設置し、学習、体験、給食の体系的食育の充実を図った。地域食教育推進組織を合計 2 箇所を設置した。

<生涯学習の推進と青少年の育成>

(47) 放課後子ども教室事業 [教育総務課]

地域社会の中で、放課後に子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりをするため、既存の「子ども広場」を拡充し、モデル地区等において新たに学校の余裕教室等を活用した「放課後子ども教室」を実施した。

(48) 児童クラブ施設整備事業 [教育総務課]

放課後児童クラブ施設の整備、改修等を行い、子育て環境の充実を図っている。

- ・玉湯：玉湯小学校敷地内にクラブ施設を整備。（平成 19 年度）
- ・城北：小学校校舎改築に併せクラブ室を整備。（平成 19 年度～平成 21 年度）
- ・八束：小学校校舎改築に併せクラブ室を改修。（平成 19 年度～平成 22 年度）

- (49) 本庄児童クラブ整備事業 [教育総務課]
小学校敷地外の施設を借り上げて運営している児童クラブを、小学校の校舎改築に併せて、校舎1階部分に児童クラブ室を整備し、移転した。(平成18年度～平成19年度)
- (50) ふるさと教育推進事業 [生涯学習課・指導課]
「ひと・もの・こと」の地域資源を活かした教育活動を通して、学校・家庭・地域が一体となり家庭・地域における教育力の向上・活性化を進める学社融合事業を実施している。
平成19年度 中学校16校、小学校33校
- (51) 雑賀公民館建設事業 [生涯学習課]
雑賀公民館施設の狭隘化・老朽化に伴う公民館の建て替えを行う。平成20年度の建築工事に向け、平成19年度は調査・設計を行った。なお、当初予算で予定していた駐車場敷地の取得は、取りやめた。
- (52) 松江市島根複合施設整備事業 [生涯学習課]
島根町加賀地区に公民館と図書館の複合施設を建設した。
- (53) 図書館ネットワーク推進事業 [生涯学習課]
「新・松江市図書館ネットワーク整備プラン」(平成18年11月策定)に基づき、図書館サービスの拡充を図った。
また、「子どもの読書活動推進に関する法律」(平成13年12月12日法律第154号)第9条第2項の規程に基づき、松江市子ども読書活動推進計画を策定した。
- (54) 青少年支援センター運営費 [青少年支援課]
青少年の非行や問題行動の防止・立ち直りのため、青少年本人、保護者、教員などからの電話・面接等による相談対応、学習・就労支援などを関係機関との連携により行っている。また、学校での不審者対応訓練なども行っている。
- (55) 青少年支援センター指導員設置費 [青少年支援課]
青少年支援センターの運営のために、所長1名、指導員4名を配置している。

＜人権施策の推進＞

- (56) 社会人権・同和教育推進事業 [人権同和教育課]
平成19年度は協議会会員・公民館職員・活動する市民グループを中心に、各地域でより活発な活動が行えるよう講師や研修先の紹介など積極的に事業を進めた。
- (57) 市民グループ実践活動補助金 [人権同和教育課]
「同和問題をはじめあらゆる差別をなくすために活動する市民グループ協議会」に補助金を交付し、協議会に所属する各市民グループが自主的に地域での学習・啓発・交流活動を行えるよう支援した。
- (58) 市民啓発事業 [人権同和教育課]
「市報松江」に、年1回（3月）に人権特集記事を掲載した。
- (59) 学校人権・同和教育推進事業 [人権同和教育課]
講演会（教職員対象）を1回、転入・採用・新規教職員研修を4回、幼稚園教員研修を1回、人権・同和教育主任研修を2回、指定校・園発表会を5回、県外視察研修を2回、学力促進学級主担当者研修を20回開催した。
- (60) 人権講演会開催事業 [人権同和教育課]
松江開府400年祭にあわせて、例年行っている人権・同和教育推進大会ブロック協議会（公民館ブロックごとに5回開催）のうちの中央ブロック（公民館のブロック）を対象に、「歴史の中の同和問題～松江開府と松江藩を支えた人々～」をテーマに、堀尾公ゆかりの圓成寺で講演会を開催した。

＜文化の振興＞

- (61) 史跡松江城整備事業 [文化財課]
史跡松江城整備検討委員会に諮った事業計画を基に、年次的に石垣復旧工事等を行っている。
平成19年度は、平成18年度に実施設計を行った二之丸下ノ段東側堀石垣の一部を修理した。また、検討委員会を1回開催した。
- (62) 乙部家等古文書調査事業 [文化財課]

平成 19 年度は、所在確認調査と概要調査を行った。平成 20 年度に内容調査を、平成 21 年度に報告書を作成する。なお、平成 22 年度以降も事業名称を変えて市域全体に調査範囲を広げ、悉皆調査を行っていく予定である。

(63) 松江市史編纂事業

[文化財課]

歴史資料調査を実施し、史料編・通史編を備えた「新松江市史」を作成していく。平成 19 年度は担当部署の立ち上げに努めた。

＜スポーツの振興＞

(64) マラソン交流事業

[スポーツ課]

友好都市の中国・杭州市で開催される国際友好西湖マラソン大会に市民ランナーを派遣、また、まつえレディースハーフマラソン大会に中国・杭州市から選手を招待し、相互のマラソンを通じて国際親善、国際理解の促進を図っている。

(65) 市営体育施設維持管理事業

[スポーツ課]

施設の老朽化や施設利用者の多様化に対応するため各市営体育施設の改修・修繕（北公園運動施設、運動公園施設、海洋センター、なぎさ公園、サンライフ松江、矢田体育館他）を行った。修繕等 29 箇所

(66) スポーツ少年団育成事業

[スポーツ課]

姉妹都市宝塚市との交歓会、親子運動会、種目別交歓会、全国研究大会を支援した。19 年度のスポーツ少年団登録団数は 33 団となった。

(67) 姉妹都市・都市間交流事業

[スポーツ課]

姉妹都市である宝塚市とスポーツ交流を行った。

平成 19 年度は宝塚市の選手団が来松され、交流十周年記念式典には 6 競技、99 人が参加した。

(68) 市民体育祭事業

[スポーツ課]

市民体育祭（28 地域体育協会対抗）を行った。ソフトボール・バレーボール・卓球・ニュースポーツを開催し、1766 人が参加した。

(69) まつえレディースマラソン事業

[スポーツ課]

平成 19 年度はレース時間を変更（午前中）し、ハーフマラソン（女子）、健康マラソン（10 km、女子）ジョギング（2.5 キロ、小学生以上男女）を開催し、1534 人が参加（平成 18 年度は 1316 人）した。

(70) 日本学生女子ハーフマラソン大会開催事業費補助金 [スポーツ課]
競技会全体のレベルアップを図り、日本学生女子ハーフマラソン選手権大会をまつえレディースマラソンと併催し、40 人が参加した。

(71) 松江玉造ハーフマラソン開催事業補助金 [スポーツ課]
9 月第 3 週の日曜日にハーフマラソンを開催し、陸上競技の競技力向上とスポーツの振興を図った。

(72) スポーツ振興審議会活動事業 [スポーツ課]
松江市スポーツ振興基本計画（仮称）のあり方について、スポーツ振興審議会から答申を受けた。

(73) 晋州市スポーツ交流事業 [スポーツ課]
成人サッカー交流訪問を行い、20 人が韓国を訪問した。

(74) 市営体育施設改修事業 [スポーツ課]
定期的に点検を行い、緊急性の高いものから実施した。
（市営陸上競技場、松江市営野球場、美保関野球場、宍道総合公園、宍道 B & G 海洋センター、サンライフ松江、松江市総合体育館、馬潟体育館、北運動広場）1 箇所点検 10 箇所改修

＜子育て支援＞

(75) 幼児教育支援センター事業 [子育て課]
幼児教育を支援するため、専門スタッフによる相談支援・サポートチーム（指導員：学識経験者）による派遣指導・子育てに悩む保護者への支援（子育て相談等）・研修会による保育所、幼稚園職員の資質向上等の事業を行った。

(76) 本庄幼稚園施設整備事業費（継続費） [子育て課]
平成 18 年～19 年度の 2 年間で、本庄小学校校舎整備事業に合わせ、本庄幼稚園を整備した。具体的には、小学校 1 階部分に幼稚園を配置した。

【3】② 管理・執行を教育長に委任する事務の評価

摘要

※1 主要事業名：教育要覧に主要事業として掲載している事業並びに総合計画に主要事業として掲載している事業を対象とした。

※2 所管課：平成 19 年度の所管課

※3 行政評価整理番号：行政評価番号をもとに行政評価公表シートの該当事業のさらに詳しい状況がわかる。

※4 必要性、効率性、達成度、有効性

4点、3点、2点、1点 点数が高いほど良い。

※5 総合評価（今後の事業の進め方の指標）

A 概ね適切に執行

B 事業の進め方の改善

C 事業の実施主体やコストの改善

D 事業の廃止・休止を検討

E 平成 19 年度で事業が完了又は平成 20 年度で事業が完了予定

※6 H19 当初予算額、H19 決算額

当初予算額と決算額とを比較するため、補正予算については掲載していない。

<教育内容の充実>

	主要事業名	所管課	行政 評価 整理 番号	必 要 性	効 率 性	達 成 度	有 効 性	総 合 評 価	H19 当初 予算額(千 円)	H19 決算額 (千円)	
(1)	第31回全国高等学校総合文化祭 (開催地補助金)	教育総務課	2036 補助 事業	公益性 A、必要性 A、 効率性 A、適時性 A、 団体適格性 A、事業費 対象の原則 A						6,213	5,120
(2)	学校図書館司書配置事業	教育総務課	1970	4	4	4	4	A	16,870	15,671	
(3)	小中一貫教育推進事業	指導課	3309	4	4	4	4	A	2,389	1,797	
(4)	学力調査事業	指導課	2105	3	4	4	4	A	7,310	6,570	

	主要事業名	所管課	行政 評価 整理 番号	必 要 性	効 率 性	達 成 度	有 効 性	総 合 評 価	H19 当初 予算額(千 円)	H19 決算額 (千円)
(5)	パワーアップ松江 っ子サマースク ール事業	指導課	2098	4	4	4	2	B	1,331	1,285
(6)	松江サタデースク ールモデル事業	指導課	2110	3	4	4	4	A	3,173	2,471
(7)	心とからだの育成 事業	指導課	3310	4	4	4	4	A	1,046	1,383
(8)	小・中学校スク ールアドバイザー派 遣事業	指導課	2116 2117	4	4	4	4	A	小 19,533 中 30,644	小 19,309 中 29,302
(9)	小学校英語活動指 導協力員派遣事業	指導課	2099	4	4	4	4	A	9,536	8,478
(10)	総合的な学習の時 間充実事業	指導課	2100	4	4	4	4	A	6,961	6,213
(11)	外国青年招致事業	指導課	2101	3	4	4	4	A	96,597	91,733
(12)	教える力向上プロ ジェクト事業	指導課	2108	4	4	4	4	A	681	634
(13)	南北拠点校充実事 業	特別支援教 育室	2154	4	3	3	2	B	4,053	3,706
(14)	教育相談実施事業	特別支援教 育室	2145	4	3	3	3	A	310	245
(15)	特別支援教育就学 審議会事業	特別支援教 育室	2147	4	4	4	4	A	828	634
(16)	特別支援教育指導 員事業	特別支援教 育室	2148	4	3	3	4	A	4,068	3,833
(17)	学習障害等判定専 門委員会事業	特別支援教 育室	2149	3	3	1	2	B	81	0

	主要事業名	所管課	行政 評価 整理 番号	必 要 性	効 率 性	達 成 度	有 効 性	総 合 評 価	H19 当初 予算額(千 円)	H19 決算額 (千円)
(18)	学習障害等支援プログラム作成委員会事業	特別支援教育室	2150	4	3	2	2	B	104	23
(19)	特別支援教育研修講座事業	特別支援教育室	2151	4	3	3	3	A	185	183
(20)	学習障害等実態研究調査事業	特別支援教育室	2152	4	3	3	3	A	262	242
(21)	特別支援教育育成事業	特別支援教育室	2155	4	4	4	4	A	692	660
(22)	松江市特別支援連携協議会事業	特別支援教育室	2156	3	2	2	2	C	90	0
(23)	特別支援学級介助員事業	特別支援教育室	3311	4	4	4	4	A	12,097	11,842
(24)	特別支援教育支援員配置事業費	特別支援教育室	3496	4	4	4	4	A	0	2,938
(25)	女子高・杭州市相互交流事業	市立女子高等学校	2339	4	4	4	4	A	525	446

<教育環境の整備・充実>

	主要事業名	所管課	行政 評価 整理 番号	必 要 性	効 率 性	達 成 度	有 効 性	総 合 評 価	H19 当初 予算額(千 円)	H19 決算額 (千円)
(26)	八束小学校・八束中学校校舎整備事業	教育総務課	3290 3302	4	4	4	4	A	小 10,135 中 10,392	小 8,507 中 7,520
(27)	城北小学校校舎整備事業	教育総務課	3294	4	4	4	4	A	46,550	24,105
(28)	島根小学校屋内運動場整備事業	教育総務課	2054	—	—	—	—	E	273,912	264,438

	主要事業名	所管課	行政評 価整理 番号	必 要 性	効 率 性	達 成 度	有 効 性	総 合 評 価	H19 当初 予算額(千 円)	H19 決算額 (千円)
(29)	島根小学校屋外教育 環境整備事業	教育総務課	3296	4	4	4	4	E	3,135	5,232
(30)	生馬小学校校舎大規 模改造事業(耐震補 強・老朽改造)	教育総務課	3295	4	4	4	4	A	10,500	9,647
(31)	本庄小学校校舎整備 事業	教育総務課	2053	—	—	—	—	E	569,559	561,482
(32)	本庄小学校校舎整備 事業	教育総務課	2029	—	—	—	—	E	13,123	8,331
(33)	本庄小学校屋内運動 場整備事業	教育総務課	3291	4	4	4	4	E	9,205	9,189
(34)	鹿島東小学校屋内運 動場整備事業	教育総務課	2050	4	4	4	4	E	323,150	343,762
(35)	鹿島東小学校屋外教 育環境整備事業	教育総務課	3297	4	4	4	4	E	3,895	3,619
(36)	鹿島中学校整備事業	教育総務課	2033	4	4	4	4	A	109,888	100,171
(37)	鹿島中学校整備事業 (継続費)	教育総務課	2060	4	4	4	4	E	1,337,452	1,320,575
(38)	鹿島中学校屋内運動 場整備事業	教育総務課	3303	4	4	4	4	A	19,305	18,947
(39)	第一中学校校舎大規 模改造事業	教育総務課	2063	4	4	4	4	E	333,270	30,099
(40)	第一中学校校舎耐震 補強事業	教育総務課	3305	4	4	4	4	E	9,999	3,800
(41)	第一中学校校舎整備 事業	教育総務課	3304	4	4	4	4	E	12,750	1,957
(42)	施設整備計画	教育総務課	3308	4	4	4	4	A	0	0

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(43)	鹿島給食センター整備事業	学校給食課	2169	3	4	4	4	E	477,314	452,658
(44)	食教育推進事業	学校給食課	3313	3	3	1	1	B	663	662
(45)	学校家庭地域連携食教育推進事業	学校給食課	3316	—	—	—	—	E	3,000	1,520
(46)	地域食育推進事業	学校給食課	3318	4	3	2	2	B	1,000	0

＜生涯学習の推進と青少年の育成＞

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(47)	放課後子ども教室事業	教育総務課	3306	4	4	4	4	A	17,772	16,318
(48)	児童クラブ施設整備事業	教育総務課	2076	4	4	4	4	A	32,288	25,279
(49)	本庄児童クラブ整備事業	教育総務課	2080	—	—	—	—	E	22,089	22,031
(50)	ふるさと教育推進事業	生涯学習課	2226	4	2	4	4	C	3,600	3,700
(51)	雑賀公民館建設事業	生涯学習課	3329	4	4	4	4	E	82,274	19,604
(52)	松江市島根複合施設整備事業	生涯学習課	3331	4	4	4	4	E	392,398	297,229
(53)	図書館ネットワーク推進事業（子ども読書活動推進計画策定を含む。）	生涯学習課	3330	4	4	4	4	A	897	1,013
(54)	青少年支援センター運営費	青少年支援課	2356	4	2	4	4	C	2,984	2,643
(55)	青少年支援センター指導員設置費	青少年支援課	3355	4	4	4	4	A	12,220	12,148

<人権施策の推進>

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(56)	社会人権・同和教育推進事業	人権同和教育課	2195	4	4	4	4	A	6,694	6,672
(57)	市民グループ実践活動補助金	人権同和教育課	2196	4	4	4	4	A	2,440	2,440
(58)	市民啓発事業	人権同和教育課	2197	4	4	4	4	A	411	401
(59)	学校人権・同和教育推進事業	人権同和教育課	2198	4	4	4	4	A	3,953	3,683
(60)	人権講演会開催事業	人権同和教育課	3321	4	3	4	4	A	55	27

<文化の振興>

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(61)	史跡松江城整備事業	文化財課	2250	4	4	4	4	A	22,800	22,748
(62)	乙部家等古文書調査事業	文化財課	3343	4	4	4	4	A	2,400	2,600
(63)	松江市史編纂事業	文化財課	3347	4	4	4	4	A	0	0

<スポーツの振興>

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(64)	マラソン交流事業	スポーツ課	2278	3	3	4	2	B	1,960	1,704

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(65)	市営体育施設維持管理事業	スポーツ課	2271	4	4	3	4	A	9,154	6,301
(66)	スポーツ少年団育成事業	スポーツ課	2273	4	4	4	4	A	2,932	2,692
(67)	姉妹都市・都市間交流事業	スポーツ課	2277	3	3	4	4	A	700	690
(68)	市民体育祭事業	スポーツ課	2279	4	4	4	4	A	886	1,231
(69)	まつえレディースマラソン事業	スポーツ課	2282	4	3	4	3	A	16,000	18,000
(70)	日本学生女子ハーフマラソン大会開催事業費補助金	スポーツ課	2284	4	4	4	4	A	4,000	4,000
(71)	松江玉造ハーフマラソン開催事業補助金	スポーツ課	2285	3	4	2	2	B	3,900	3,900
(72)	スポーツ振興審議会活動事業	スポーツ課	2290	4	4	4	4	A	234	234
(73)	晋州市スポーツ交流事業	スポーツ課	2298	3	3	2	2	B	1,248	819
(74)	市営体育施設改修事業	スポーツ課	3352	4	4	4	4	A	18,400	24,670

<子育て支援>

	主要事業名	所管課	行政評価整理番号	必要性	効率性	達成度	有効性	総合評価	H19当初予算額(千円)	H19決算額(千円)
(75)	幼児教育支援センター事業	子育て課	1116	4	4	4	4	A	2,731	3,275
(76)	本庄幼稚園施設整備事業費(継続費)	子育て課	1153	—	—	—	—	E	60,394	58,057

II 松江市教育委員会の自己点検・評価

2. 平成19年度松江市教育委員会の自己点検・評価[総合評価]

1 総括

- 「1. 教育委員会の活動」の評価は、a評価が3項目、b評価が5項目、c評価が2項目、d評価は0項目となった。教育委員会会議の開催回数は、月1回以上開催しているが、開催にあたっては、事務局から教育委員への説明が遅いため政策立案のための時間が十分に確保できないことがある。今後は開催の時期、資料の配布等事務局との連携に工夫を要す。また、教育委員の学校への訪問は活発に行ったものの、所管施設への訪問はほとんど行わなかったため、今後は社会教育施設への訪問も充実していく必要がある。
- 「2. 教育委員会が管理・執行する事務」の評価は、a評価が1項目、b評価が4項目、c評価が1項目、d評価は0項目となった。なお、実績のなかったもの、評価に適さないものについては評価を行っていない。「(1)教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること」をC評価としたが、これについても、事務局との連携を工夫し、教育委員の意見が十分に反映される機会を確保する必要がある。
- 「3. 管理執行を教育長に委任する事務」については、本市の事務事業の行政評価を用いて点検・評価としたが、76事業中A評価が47事業、B評価が9事業、C評価が3事業、D評価は0事業、E評価は17事業となった。B及びC評価の事業については、事業の改善、見直し等を行い、より適正かつ効率的な事業の執行に努めていく。

2 特記事項

- 平成19年6月に西給食センターで異臭のため副食停止となった。原因は地下配管の修理不良箇所から残さいが漏れ出し、地下ピットに溜まったことであったが、原因の特定に時間を要し、委員会内での報告も遅くなったことから、日頃から危機管理に対する十分な意識と管理体制の充実を図

る必要がある。

- 小中学校の施設の維持管理や速やかな修繕のための更なる対応が必要である。
重要施策である市史編纂のための体制強化が必要である。
旧町村の教育委員会所管の体育施設の維持管理の体制強化が必要である。
- 教育長・副教育長による校長面接、副教育長・校長による教頭面接を行ったが、教育委員の学校訪問と共に、学校現場の状況が一層教育委員会の中に届くようになった。

以上、教育委員会にかかる基本的な活動及び事務、また、予算を伴う具体個別の事業について、概ね良好に実施・遂行されたものと評価している。

今後、教育委員会が果たすべき役割はますます重要なものとなっていくことから、事務局との連携強化を図り、正確な情報を迅速に把握し、委員会会議での十分な議論のもとに的確な判断と指示を行っていく必要がある。

※ 本報告書の作成にあたって、有識者委員から頂いた意見のうち、今回反映できるものは反映し、残る意見は、平成21年度以降の点検・評価に活かしていくこととした。

Ⅲ 点検・評価に関する有識者委員の意見

「平成 19 年度松江市教育委員会点検・評価報告書」について

氏名 多々納 道子

1 松江市教育委員会の自己点検・評価について

(1) 教育委員会の活動

今回評価の対象として取り上げられた活動は、教育委員会の権限に属する事務の全てなのか、そうでないのかを明確にする必要がある。もし、全てでなければ、その活動を取り上げた理由を付す必要がある。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務

毎年、評価をする中項目と小項目が固定されているとすると、1年ごとの評価では、年ごとのばらつきが大きくなることが予想される。併せて、3年とか5年と中期での活動計画を示し、このスパンの中の今年1年の評価であるということになり、大きな意義が見出せると思う。

(3) 管理・執行を教育長に委任する事務

管理・執行を教育長に委任する事務の中で、例えば(4)の学力調査事業では、取り組んで学力の向上を図っているという評価ではなく、どのような成果が上がったのかについて、記す必要はないか。同じく(5)のパワーアップ松江っ子サマースクール事業については、参加者数やどのような意欲の向上がみられるのか、みられたのかの記述があるとよい。

2 点検・評価の手法について

今回の評価の手法は、他の分野の行政評価と比較できるという利点があるが、教育活動の評価手法として優れているかどうかという、点検が必要だと思われる。今後、毎年評価を継続していくのであれば、なお重要になる。

評価については、質的な面と量的な面の二面が必要ではないでしょうか。

「平成 19 年度松江市教育委員会点検・評価報告書」について

氏名 藤原 秀晶

1 松江市教育委員会の自己点検・評価について

(1) 教育委員会の活動

教育委員会と事務局との連携でC評価。協議タイミングが遅いことや政策立案の機会不十分との指摘は、教育委員会活動の根幹にかかわることだ。事案の協議が遅くなった結果、問題点の指摘のみで終わったり、教育委員のアイデアが施策に行かせなかったりしたのではないか。教育委員会会議開催数が多いことで評価Aが付いているのがかすんでしまう。

市民への公開は「来るもの拒まず」ではなく、あらゆる手段、機会をとらえて積極的にPRすべきではないか。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務

事務管理、執行の基本的方針に関する評価がCで、委員の意見を反映できる機会が不十分だった、との説明がついている。基本方針に委員の意見が反映できなければ教育委員会の存在意義が疑われる。改善方法を検討し反映すべきだ。

(3) 管理・執行を教育長に委任する事務

各項目の選択基準が良く分からない。教育委員会が定めた基本方針の項目に沿って事業項目を設定し、評価すべきだ。

2 点検・評価の手法について

教育委員会の自己点検におけるA-D評価（※注）と管理執行を教育長に委任する事務におけるA-D評価がまぎらわしい。委任事務でD評価がゼロなのをどう受け止めるべきだろうか。D評価になりそうな事業が項目に上がっていないのでは、とも思える。委任事務の予算額と決算額の差異、反省点などを含めて、実績と評価表を一緒にしてわかりやすくすべきだ。

※注 委員の意見により、教育委員会の自己点検における評価は、a b c dに改めました。

「平成19年度松江市教育委員会点検・評価報告書」について

氏名 園山 土筆

1 松江市教育委員会の自己点検・評価について

(1) 教育委員会の活動

(2) 教育委員会が管理・執行する事務

上記2点についてまとめて記載します。

2ページから、「大項目」「中項目」「小項目」「実績」「評価」の各項目による一覧表が作成されていますが、「評価」の右スペースに、今後より良くするための「方針や改善」の欄を作成して、今後どのような対応・対策を進めていくのかを明記することが最も重要であると考えます。特に、評価Cのやや劣っている項目については勿論のこと、どの項目についてもこの報告書を今後どう活用するかが、点検・評価の目的であろうと思います。

また、会議の開催等についても、回数だけを表記するのではなく、活動の様子も簡潔に記入してより市民にわかりやすいものにしていただきたいと思います。加えて、他市町村等の平均値と比べた結果だけではなく、松江市教育委員会独自の方針も記入されることを望みます。

(3) 管理・執行を教育長に委任する事務

16ページからの「管理・執行を教育長に委任する事務の評価」についてですが、一覧表の中で、「必要性」「効率性」「達成度」「有効性」の4点についての「総合評価」は、ABCDという記号ではなく文章にて記載し、その結果を新たに「今後の事業の進め方の指標」欄（※注）を設けたうえでABCDEにて記入するほうが適当と思われます。

2 点検・評価の手法について

「報告書」は大変わかりやすくまとめられていますが、より効率的な教育行政の推進と市民に対する説明責任を十分に果たすためにも、今後は、他市の「点検・評価報告書」も参考にし、よりよいものを作成されることを望みます。

3 その他

2ページ1.(4)の「教育委員会と市長等の連携」についてですが、現在、多様で複雑化している市民社会の中で教育行政をすすめるにあたっては、市長や市長部局との濃密な連携は欠かすことのできない業務であろうと思います。また、市民活動センターやまつえ市民大学の活動は、「社会教育」といっても過言ではありません。そういった意味からも各主管部局との連携が求められます。しかしながら、報告書を読む限りではそれらを読み取ることができません。加えて、少なからず縦割り行政のひずみを行間から感じないわけではありません。

これらの点においての十分な改善がすすむことを願っております。

※注 委員の意見により、「管理・執行を教育長に委任する事務の評価」の摘要※5の総合評価に「(今後の事業の進め方の指標)」を追加しました。

評価者

松江市教育委員会

委員長	久保田	康	毅
委員	西村	康	
委員	中筋	弘	充
委員	原田	美穂	子
教育長	福島	律	子

有識者委員

島根大学

教授 多々納 道子

山陰中央新報社

論説委員会特別論説委員

藤原 秀晶

特定非営利活動法人あしづえ

理事長 園山 土筆

(順不同)